

# 切磋琢磨Ⅱ

校長室だより

R2.1.7 第32号

## 新年あけましておめでとうございます。

すてきな令和2年がスタートしました！皆さんにとって素晴らしい年でありますように。



皆様、新年あけましておめでとうございます。本年も、本校の教育活動に温かいご支援とご協力をお願いします。

今年は「子(ねずみ)年」です。十二支の一番に「子(ねずみ)」が来ているように、新しい生命や物事のスタートになる年と言われています。私も、何か新しいことを始めようかと、考えているところです。

さて、本日の「新年を迎える会」はいつもと少し変えて、新しい取り組みをしましたので紹介します。

### その1: 体育館へは、児童だけで入場

先生の指示がなくても、子どもたちだけで入場整列ができるのか、決められた場所に待機できるのかをお試ししました。少しの不安とたくさんの期待をこめて。皆さんは期待以上の動きをしてくれました。

### その2: 先生からお年玉プレゼント

先生バンドによるヒット曲「檸檬(れもん)」の披露がありました。みんなで手拍子とサビを歌いました。このバンド披露には、今年の最初にみんなに笑顔と元気で勇気を与えたいという先生達のメッセージが込められています。アンコールの声も上がったので、まだどこかで披露があるかもしれません。

昨年この会では「えがお」の話をしました。今年も皆さんの「えがお」がたくさん見られて、きっと素敵な一年になると嬉しく思いながら見ていました。

この2つの新たな取り組みを通して、気づいたことがあります。まず、子どもたちの素晴らしさです。今回、自分達で考えて自分からすすんで行動することができる上級生のリーダーシップのもと、スムーズに入場整列が完了しました。先生達は、まったく指示をしていません。そして、先生の指示がなくても、みんな自分達の場所で静かに待つことができました。

また、先生の演奏する姿を見ながら楽しそうに歌を聴いたり歌ったりしている姿を通して、自分自身を楽しむことのできる子がたくさんいることも気づきました。

今回の取り組みから、目標(今回でいうと、先生の指示なしで、ペア学年で入場する)を示せば、先生の力を借りなくても、自分達で考え責任をもって行動することができ、自分を楽しむことのできる二川っ子がたくさんいるということがわかりました。これからも子どもたちに任せて活動させることで、さらに自主性を伸ばしていけるという確信をもつことができました。

この3カ月は1年間の集大成です。まとめの段階として、いろいろな活動のなかで、先生達の指示なしで動く場面をこれからも意識的に設定していく予定です。失敗しても大丈夫。それを次につなげていけばいいのですから。

上級生の皆さんは、それぞれが目標達成のために何が必要かを考えなければなりません。「考えること」は自分を成長させます。時には、先生達から与えられたミッションをどう達成するか、時には自分でミッションを決めてどう克服するか。学年が下の子どもたちは、上級生の姿を見て、自分達もこういうお兄さんお姉さんになっていくなという思いを強くしてほしいと思います。「切磋琢磨」の言葉のように、皆さんがたくさんの人と関わりながら、お互いを磨き、もっともっと成長するのをとても楽しみにしています。

すてきな令和2年スタートを迎えることができたことを、二川っ子の子どもたちに、そして子どもたちを成長させてくださった先生方に感謝する一日でした。